

のた魚のぬいぐるみの作り方

明治大学の米沢嘉博記念図書館が主催していたふたつの吾妻ひでお展に協力した際に作成した型紙です。

http://www.meiji.ac.jp/manga/yonezawa_lib/exh-azuma.html

吾妻ひでおさんとは関係なく白峰彩子が勝手に作成したものです。

型紙および作成方法ファイルはpdfです。

素人が作成したものなので説明した以上の作り方はたぶん対応できません。

ダウンロードされた型紙はB4用紙に印刷されると手のひらサイズのものができます。型紙から5mmくらいのところをテキトーに縫っています。縫い代が必要な方はその分テキトーに大きめに裁つようお願いいたします。

型紙を使ってのた魚を作成されるのは自由です。

ご紹介いただく時は「白峰彩子作成」であることがわかればご自由に。

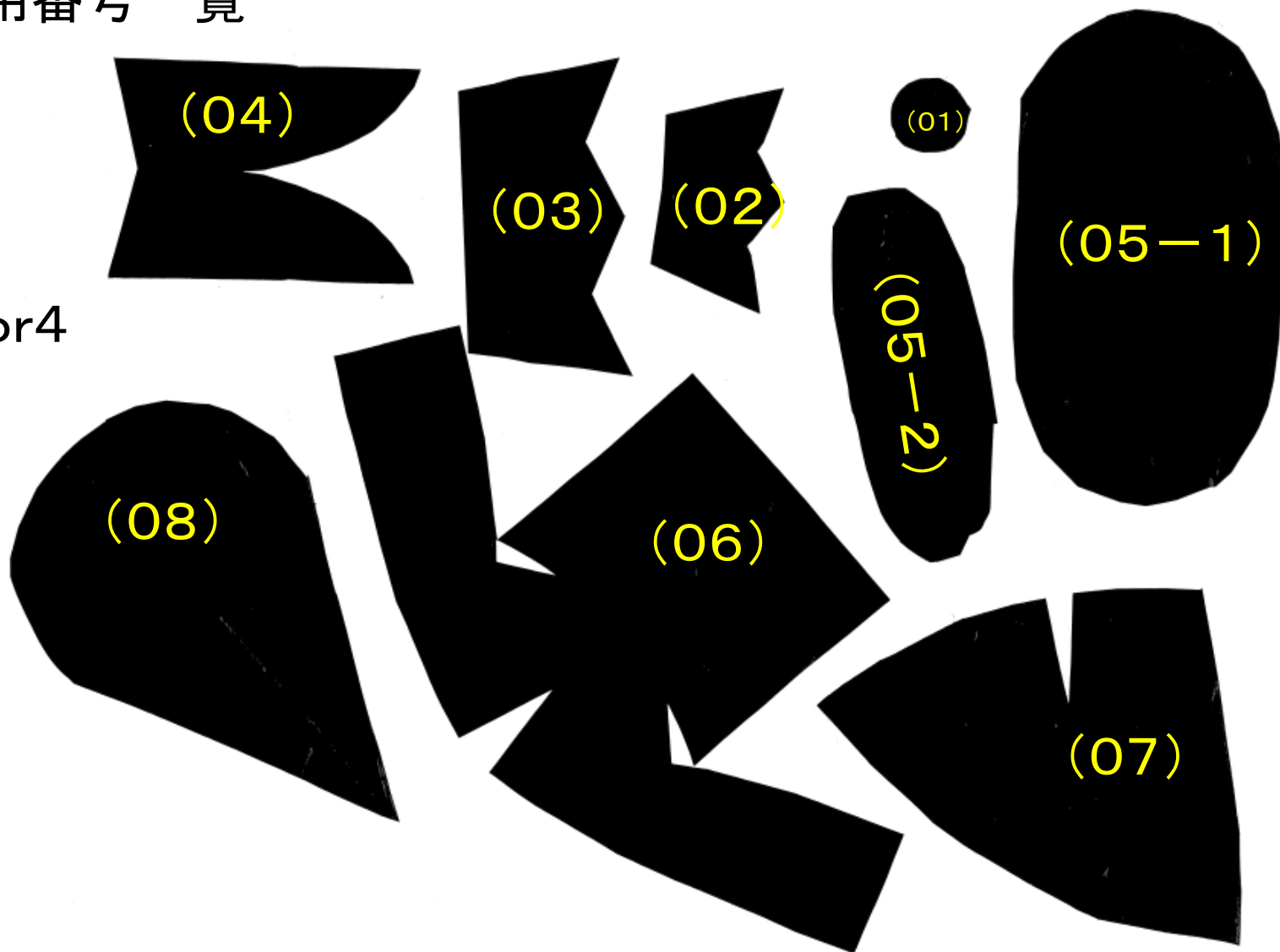
型紙の改変は自由ですが、そのまんまの無断転載等のご遠慮ください。改良版ができたらご一報いただけるとうれしいです。

よろしく申し上げます。

2011/5/23 白峰彩子

サイト: 砂糖壺 <http://blancblanc.net/>

型紙説明用番号一覧



(01) × 2or4

(02) × 2

(03) × 1

(04) × 1

(05) × 1

(06) × 1

(07) × 2

(08) × 1

他にねじりっこ、黒ビーズ2個を用意

(01) 白目

・2枚の場合

フェルトで2枚を型紙どおりに裁つ

・4枚の場合

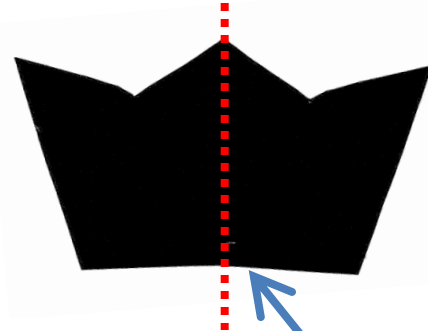
テキトーな白い布を型紙より大きめに裁ち、ビーズを中央に縫った後に2枚をあわせる。

型紙実寸(B4)で印刷した場合はそのまま、大きく作る場合は少し綿を入れるといいと思います。

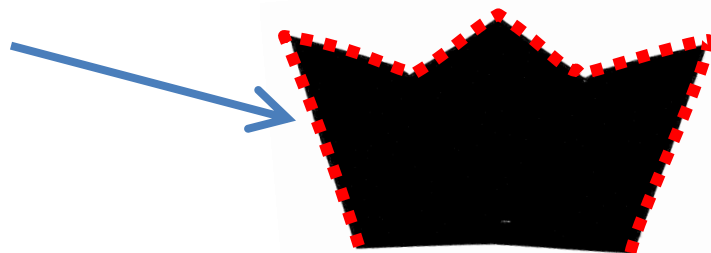
※大きく作る場合は、黒目はフェルトにするなどテキトーに。

(02) 胸鰭

- ・フェルトの場合、型紙の半分のみ使用。2枚裁つ。



- ・普通の布の場合は型紙どおりに2枚裁ち、こちらの点線部分でおりまげ、こちらの点線部分をぬいあわせる。

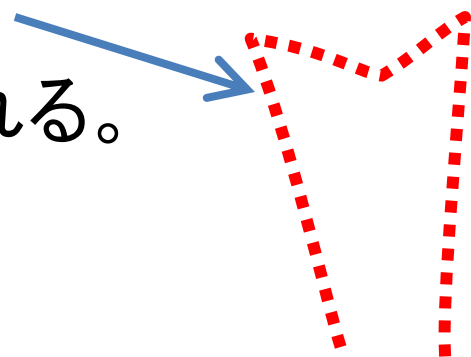


※適当に鰭の刺繍を施してもよい

※大きく作る場合は、中に綿を入れるとよい

※縫ったらひっくりかえす作業がありますがタイミングは自己判断で。他のパーツも同様。

- ・ハリガネもしくははねじりっこをこのようなかたちにしたものを2つ作成。中に入れる。



(03) 尾鰭

胸鰭とほぼ同作業。

- ・フェルトの場合は型紙半分使用で1枚。

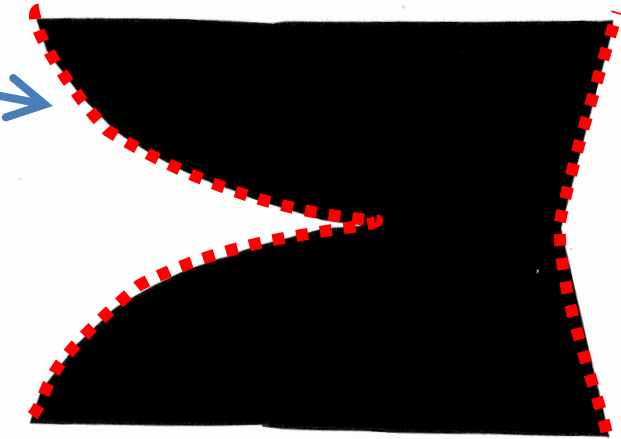
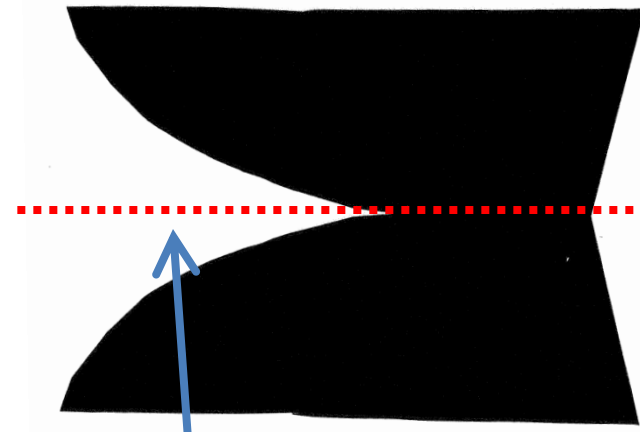
- ・その他の布の場合は型紙どおりに1枚裁つ。

縫い方&ハリガネ類も(02)と同じ。

(04) 背鱗

- ・フェルトの場合、型紙の半分のみ使用。
1枚裁つ。

- ・普通の布の場合は型紙どおりに2枚裁ち、こちらの点線部分でおりまげ、こちらの点線部分をぬいあわせる。



※適当に鱗の刺繍を施してもよい

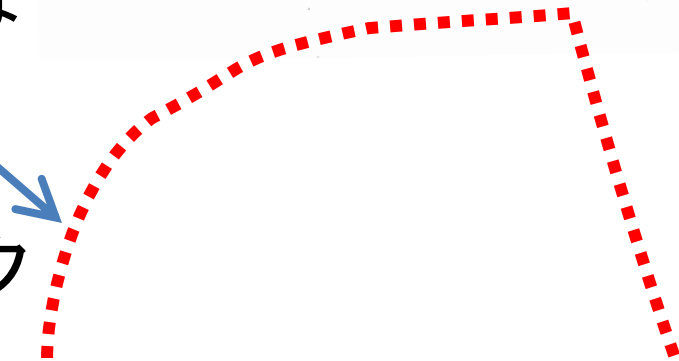
※大きく作る場合は、中に綿を入れるとよい

- ・ハリガネもしくははねじりっこをこのようなかたちにしたものを作成。

中に入れる。

カーブに添ってボンドで固定するとラク

(ただし見栄えは悪くなります)

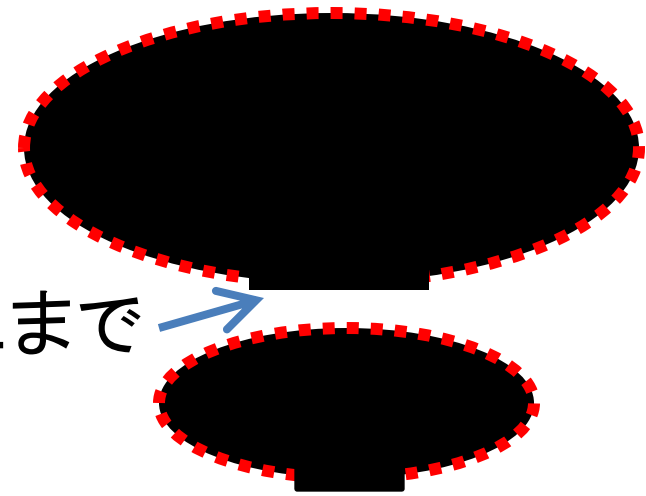


(05)唇

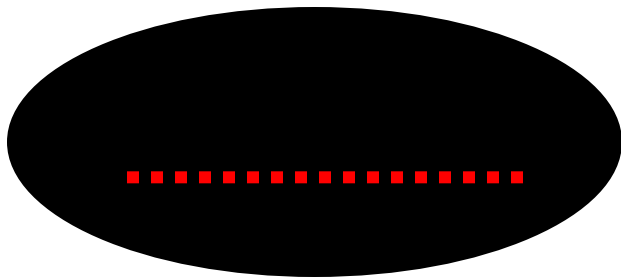
- ・(05-1)と(05-2)をあわせ、(05-1)に適当にギャザーを作りながら縫い合わせる。一周せず、ここまで縫ったらひっくりかえす。

ワタを入れた後、とじます。

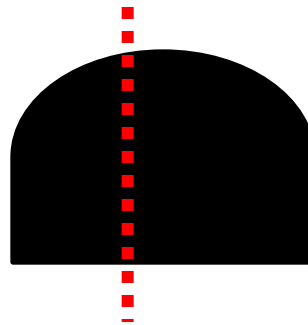
(図の下の部分を最後に縫うようにすれば唇の下の部分なのでめだちません)



- ・唇のあわせめ部分がひっこむように縫います



正面から見た場合



横から見た場合

(06)顔、(07)胴部分

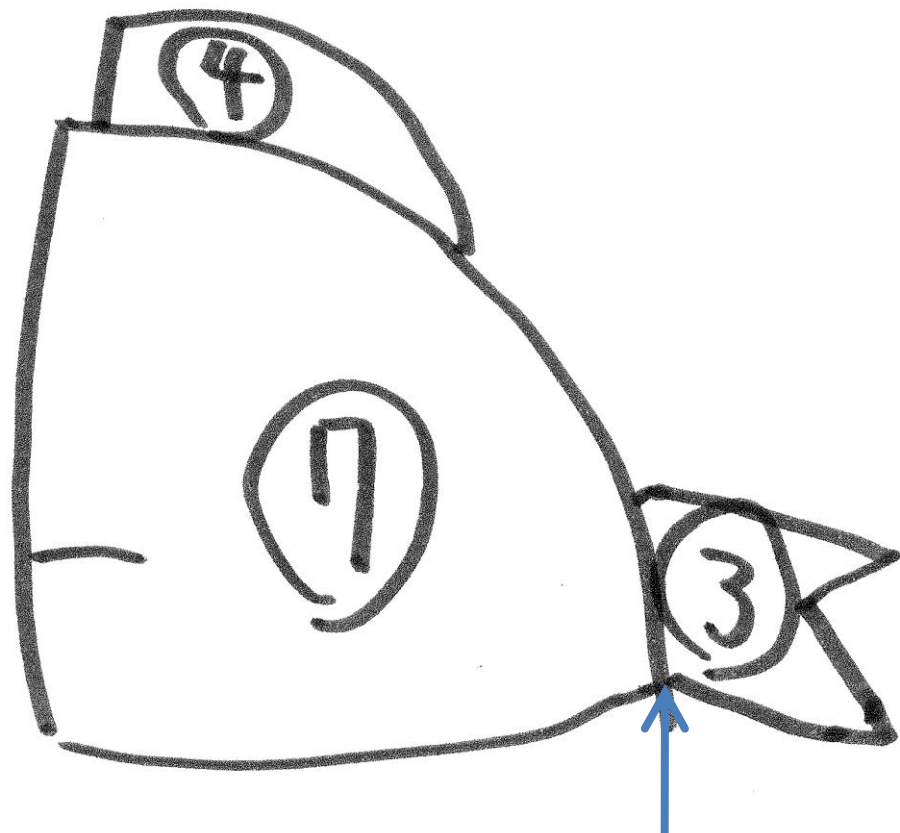
・ダーツ部分を縫います。

(07)2枚は左右になるのでそれぞれ逆になるように。
ダーツ部分は裁たずに線をひき、縫うだけでも大丈夫です。

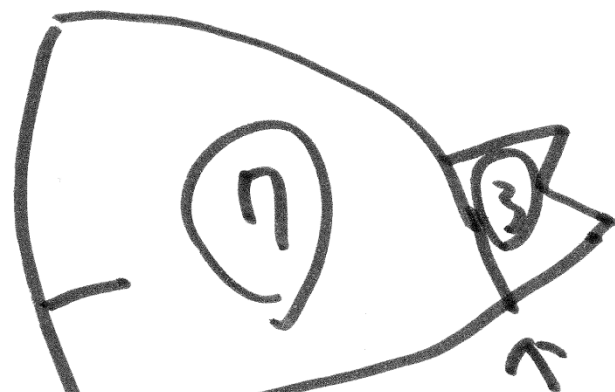


(03) (04) (07)をつなげます。

(03) は、立体になった時にしっぽがハネないようにします。
うろこを刺繍する場合はこの時点で入れます。



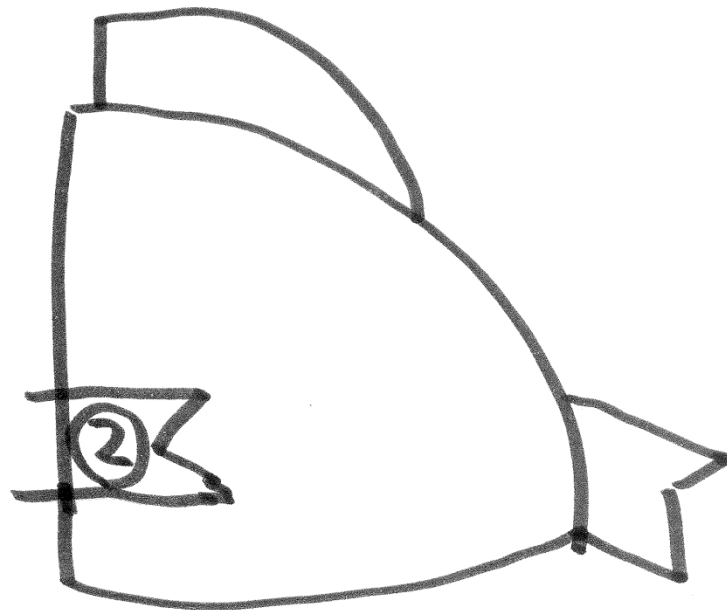
(07)の下のラインがくいこんでいる
のと同じ角度を(03)にもつける



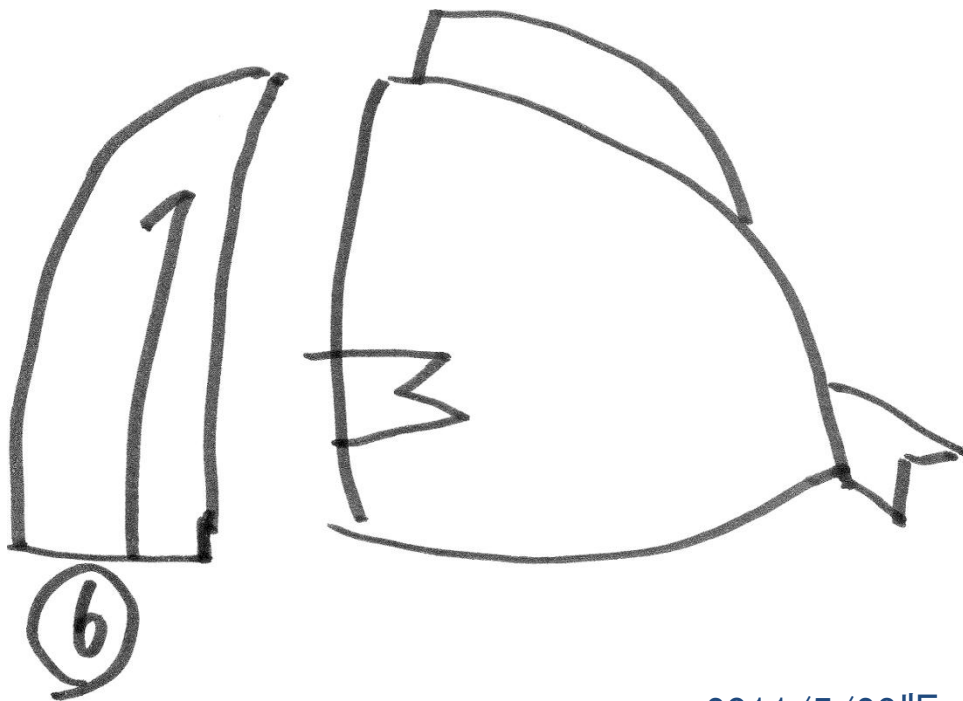
ここで(07) (03)の
下のライン平らだとハネる

(02)をつけます。

その際、(07)のダーツが
隠れるようにつきます。



(06)をつけます。



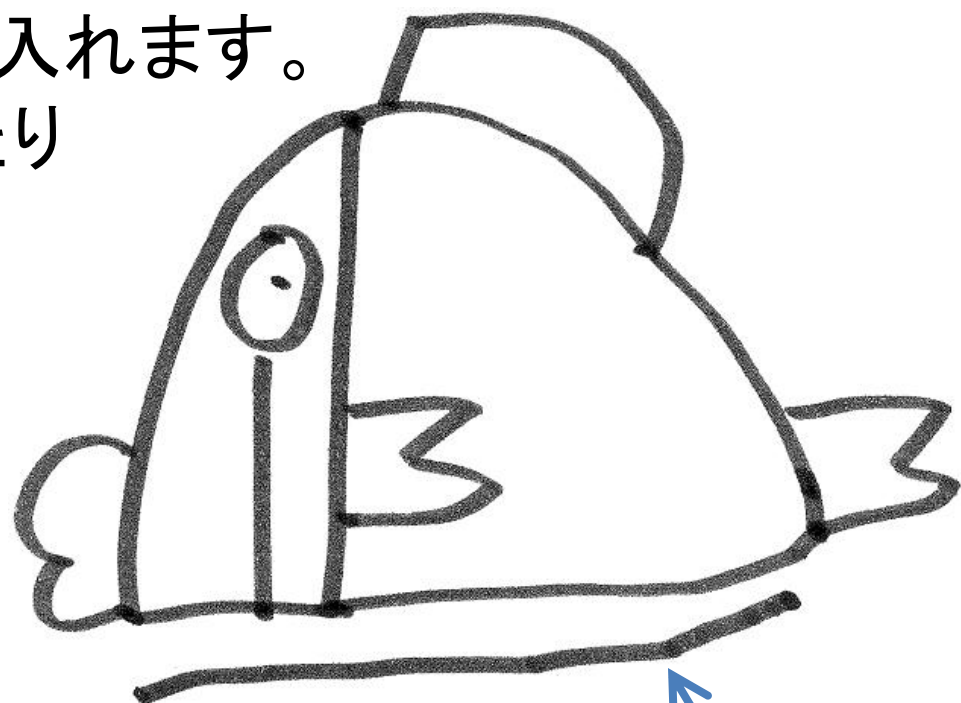
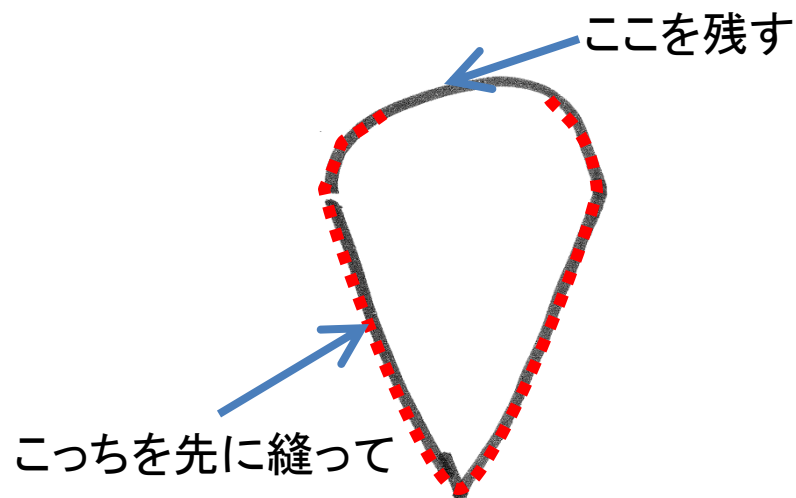
(05)(01)をつけます。

(01)をつける場合はナナメのダーツが
隠れるあたりだとよいと思います。

この作業まで終わったところで鱭の調整をします。

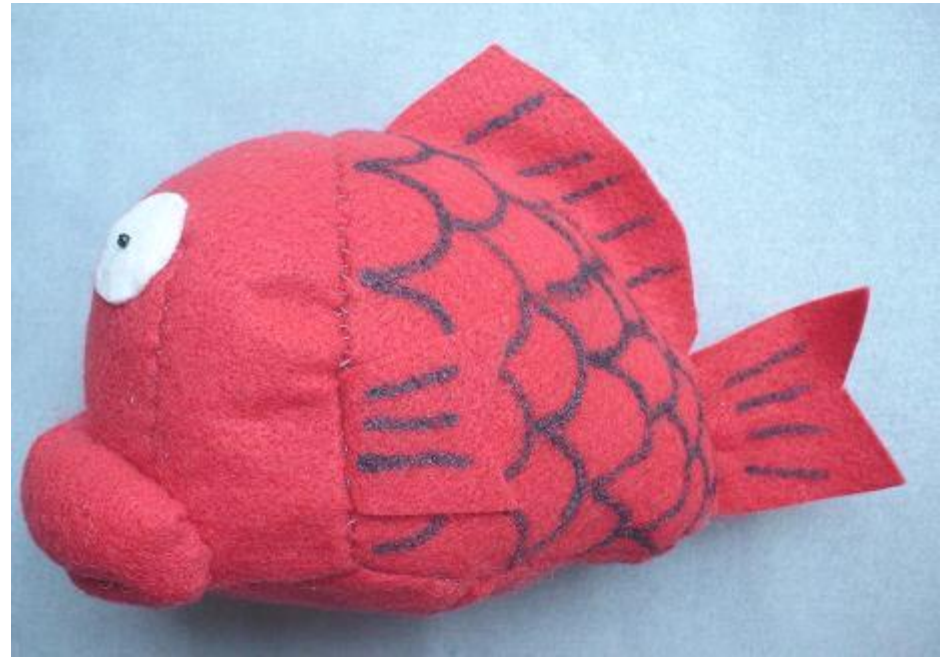
(08)を途中までつけ、ワタを入れます。

最後に残すのは唇の下あたり
が目立たないと思います。



ワタを入れたら残りの部分も縫います。

完成品見本



↑
フェルト製
うろこ、鰭は布用ペン。

←
木綿布製
うろこは布用ペン。
鰭部分は刺繍。